



2023年1月5日発行

新たな挑戦、飛躍の一年に

国家安全保障戦略、子ども政策、環境政策(GX)

2023年通常国会開会に向けて

新年おめでとうございます。

旧年中は地元の保土ヶ谷区・旭区で大変お世話になり、ありがとうございました。新型コロナの行動制限がない三年ぶりのお正月となりました。衆議院議員として二年目となる本年は、私も地元神社での初詣、保土ヶ谷区内で箱根駅伝の応援、4日から仕事始めでスタートしました。

昨年は、ロシアによるウクライナへの侵攻や参議院選挙、安倍元総理のご逝去、物価高など、国内外で世界的な出来事が起こり、慌ただしい一年となりました。今月から通常国会が始まりますが、景気対策、防衛、教育、子育て支援、環境問題対策などを中心に取り組みたいと思います。鶴ヶ峰駅付近連続立体交差事業や横浜市内の道路、港湾、鉄道などのインフラ整備、国際園芸博覧会やアフリカ開発会議の誘致など横浜市と国の繋ぎ役、そして政府与党の議員として頑張ります。



令和5年度予算を閣議決定、成立に向け全力を挙げます

歴史の転換期を前に、我が国が直面する内外の重要課題に対して道筋をつけ、未来を切り拓くための予算

外交・安全保障

- 我が国を取り巻く安全保障環境を踏まえ、新たな国家安全保障戦略等を策定。5年間で緊急的に防衛力を抜本的に強化するため、43兆円の防衛力整備計画を実施。防衛力を安定的に維持するための財源を確保。
- G7広島サミットや日本ASEAN友好協力50周年等を見据え、機動的で力強い新時代リアリズム外交を展開するための予算を確保。



子ども政策

- 今年4月に子ども家庭庁を創設し、子ども・子育て支援を強化。
- 出産育児一時金について42万円から50万円に引き上げ（過去最高の引上げ幅）。
- 妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と妊娠届出・出生届出を行った妊婦・子育て家庭に対する経済的支援（計10万円相当）を合わせたパッケージを継続実施。



GX

- 成長志向型カーボンプライシング構想の具体化で得られる将来の財源を裏付けとした「GX経済移行債」の発行により、民間のGX投資を支援する仕組みを創設。
- 2050年カーボンニュートラル目標達成に向けた革新的な技術開発やクリーンエネルギー自動車などの導入などの支援。



古川なおきプロフィール

1968年8月31日「野菜の日」生まれ

- 希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- 横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市議員26歳最年少当選
- 自民党横浜市議団団長、政務調査会長を歴任
- 2021年10月衆議院議員総選挙神奈川6区（保土ヶ谷区・旭区）にて当選
- 希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事
- 2018年横浜マラソン完走（5時間8分）

〒241-0825 横浜市旭区中希望ヶ丘199-1
TEL : 045-391-4000
FAX : 045-366-9700
E-mail : jm@furukawa2002.com



ホームページ



新年度予算案のポイント

新年度予算案は、一般会計歳出総額が、114兆3812億円と過去最大となり、防衛費増額やGX投資、こども関連予算など、これまでにない挑戦が期待されます。

昨年ロシアによるウクライナ侵攻や、中国の猛烈な軍拡、北朝鮮による相次ぐ弾道ミサイルの発射など、東アジアを取り巻く安全保障環境は厳しさを増しています。安全保障は不断の外交努力が不可欠ですが、いざという時に国民を守るのが国家の一つの存在意義です。しかし、我が国単独で国家を守り切ることはもはや難しい状況にあります。欧米各国（NATO諸国）と同様のGDP費2%の防衛費を目指して負担していくことで、足並みをそろえて防衛力や、相手に攻撃や侵攻を思いとどまらせる抑止力を高めていく必要があります。

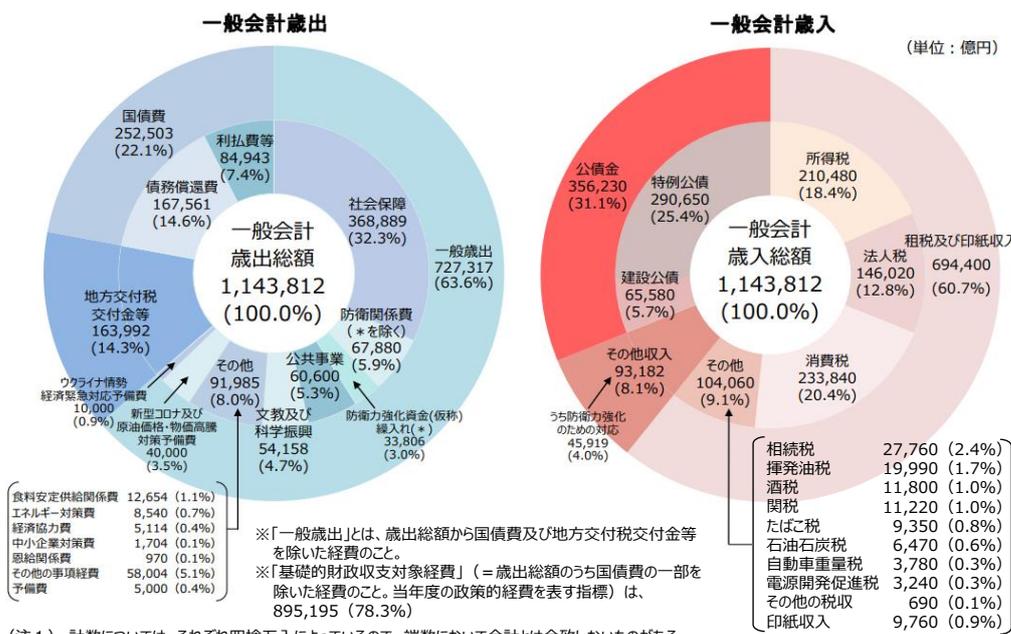
また、近年は国際的に地球環境への問題意識が高まっており、環境負荷の少ない経済活動を推進するためのGX投資は、日本のような先進国こそ先導する立場になければならないでしょう。少子化も将来の日本にとっては非常に深刻な問題です。昨年は出生数が80万人を割込むのみならず、保育園バスの置き去り事故など、出産・子育て環境の改善に向けた議論が活発に行われました。

1月から始まる通常国会では、これらの取り組みを具体的にどのように実施し、予算を活用していくのかが議論される見込みです。ぜひご注目いただき、古川なおきまで皆様のご意見をお寄せ下さい。

今年が皆様にとって素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。

衆議院議員 古川なおき

令和5年度一般会計予算 歳出・歳入の全体構成



● 物価上昇による名目ベースでの経済が伸び、歳入(税収額)が大幅に増加。2022年度は前年度比2%増と試算されていますが、下半期の増収額を鑑みても上方修正の可能性が高い。増税が国債発行かの議論が盛んに行われていますが、経済を伸ばして自然増収を目指す議論も推し進めるべきです。

● 防衛関係、国土交通（公共事業）、文部科学（文教及び科学振興）の“5兆円兄弟”とも呼ばれていた予算も6兆円台に突入。必要な事業に必要な金額をかけることは重要である一方で、それをどこから捻出するのか、本当に無駄がないのかは検証が必要。

● 新規国債発行額を減額（令和4年度（当初）：36.9兆円 ⇒ 令和5年度：35.6兆円）

● 児童手当など経済的支援の拡充や育児休業制度の強化など、少子化高齢化対策は今後の国家の存続につき、非常に重要なトピックです。この財源を消費増税で賄うとの報道が一部ありますが、消費増税については慎重であるべきと考えています。

(注1) 計数については、それぞれ四捨五入によるので、端数において合計とは合致しないものがある。
 (注2) 一般歳出における社会保障関係費の割合は50.7%。

【図表参照】https://www.mof.go.jp/policy/budget/budger_workflow/budget/fy2023/seifuan2023/01.pdf



国会見学に
来ませんか？



国会は国会議事堂の中で本会議や委員会が開催されています。何度行っても建築物としての素晴らしさやみかげ石の美しさに感動します。「小学校以来国会議事堂に行ったことがない」という皆さま、ぜひ国会見学にいらっしやいませんか？

数名から数十名まで国会議場や天皇陛下の御休所、予算委員会の委員室、国会近くの自民党本部の総裁室まで、スタッフと一緒にしっかりとご案内させていただきます。ぜひお問合わせください！



TEL : 045-391-4000 (横浜事務所)

Mail : jm@furukawa2002.com

右のQRコードからメールをご送付いただくか、横浜事務所までお電話の上、ご相談ください！

